Technics®

OTTAVA™ S

取扱説明書　活用ガイド

ワイヤレススピーカーシステム

SC-C50

音楽は、国を越えて、世代を越えて、
人の心を揺さぶり続けます。
そして時代はいつも、新しい感動を
求めています。
まだ経験したことのない音との出会い。
音楽を愛するすべての人に、
再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™ / Technics

最高水準の感動を、世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、
音楽を愛するすべての人に音楽の感動を
提供し続け、世界中の音楽文化の発展に
貢献したいと考えています。
これが私たちの掲げたフィロソフィーです。
音をめぐる数々の出会いと経験が
凝縮された今ここに、Technics の理想を
めざす、という確信が生まれました。
すべてにおいて最高クラスの品格と
完成度をめざし、世界中の人々から、
憧れを抱いていただける、
幸せを感じていただけるブランドで
ありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（07 ～ 11 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書（別添付）は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■本書内の表現について

- 参照していただくページを（⇒ ○○）で示しています。
- イラストや画面表示が実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

本機の特長

力強いベースと広大なサウンドステージ

小型ラウンドボディに最適配置した 3 基の同軸ホーンユニットとサブウーハー計 7 基を、4 つの JENO Engine でパワフルにドライブし、力強い重低音と広大なサウンドステージを実現しています。

サウンド最適化技術

Space Tune™ 機能により、設置場所やリスニングポジションに最適なサウンドを実現します。
新たに内蔵マイクにより簡単操作で音質を自動調整する機能を搭載しました。

多彩な音楽ソースを簡単な操作で楽しめる

USB、アナログ（AUX）入力、光入力、AirPlay、Bluetooth®、Chromecast built-in、Spotify、Deezer、インターネットラジオ、ネットワーク再生に対応しており、幅ひろい音楽ソースが楽しめます。

もくじ

はじめに 06

安全上のご注意、取り扱いについて

各部の名前と働き 15

本体（前面 / 上面 / 背面）

接続する 18

電源コードを接続する、ネットワークに
接続する

音楽を楽しむ 28

接続した各種機器の音楽を再生する

設定する 44

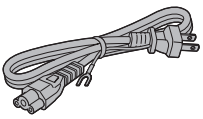
お気に入りを登録する、その他の設定

必要なとき 48

故障かな !?、著作権、仕様、
保証とアフターサービスなど

付属品

電源コード（1 本）
K2CF3YY00021



- 表紙に記載のスマートフォンは同梱されていません。
- 付属品の品番は 2019 年 9 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
  また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
http://jp.store.panasonic.com/
パナソニックグループのショッピングサイト

Panasonic Store

はじめに

安全上のご注意（必ずお守りください）..... 07
取り扱いについて 12
本機の設置 12
スピーカーについて 12
よりよい音響効果を得るために 12
お手入れ 13
専用アプリ「Technics Audio Center」を使う... 13
ファームウェアを更新する 13
廃棄 / 譲渡するとき 14

もくじ ... 04

安全上のご注意
(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

(続く)

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）
傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因にもなります。

アース端子を電源コンセントに差し込まない
火災・感電の原因になります。

アース線の接続、取り外しは、電源プラグをコンセントに接続している状態では行わない
感電の原因になります。
- アース線の接続は、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。
- アース線の取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

本機を天井から吊り下げたり、壁に掛けたりしない
落ちてけがの原因となることがあります。

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

（続く）

⚠ 警告

心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

アース線の接続は確実に行う

本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アース線の接続は確実に行ってご使用ください。感電の原因になります。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

（続く）

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災や誤動作の原因になることがあります。

- 本機は、本棚やラックの中など狭い空間に設置しないでください。
- 本機を新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

（続く）

⚠ 注意

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーには、強力なマグネットが使用されております。キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。

本機の上に火のついたロウソクのような裸火を置かない

接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- USB メモリーは、保護のために取り外しておいてください。

取り扱いについて

本機の設置

- 本機を移動させるときは、接続している機器をすべて取り外して電源を切って移動してください。また、引きずらず、持ち上げて移動してください。
- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。
- 本機は、温帯気候での使用を意図しています。

スピーカーについて

- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。キャッシュカードや定期券、時計などが正しく動かなくなることがあります。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも以下のような場合には、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。
  - 再生音が歪んだとき
  - 音質調整をするとき
  - 電源を入 / 切するとき

よりよい音響効果を得るために

本機の設置場所、リスニング位置、部屋の状態などによって、低音の質や量、音の定位、臨場感など、音質に変化が生じます。以下のことを参考にして設置してください。

設置場所を決める

- 平らで安定した場所に、ぐらつきのないように設置してください。

本機と壁の距離を調整する

- 本機を壁やコーナーに近づけて設置すると低音が増えます。ただし近づけすぎると音がこもったり、音の定位や臨場感が低下することがあります。

（続く）

Space Tune で調整する

- 本機を設置した場所（壁際や部屋の隅など）に合わせて、適した音質に自動で調整することができます。

① [►/II] を 5 秒間押したままにする
  - 「Space Tune (Auto)」が表示されます。

② 「Space Tune (Auto)」が表示中に、再度 [►/II] を押す
  - 調整中は比較的大きなテスト音が出力されます。
  - 途中でやめるときは、[⏎] を押してください。
  - 設定が完了すると「Success」と表示されます。

③ [⏎] を押して設定を終了する

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

専用アプリ「Technics Audio Center」を使う

お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリ「Technics Audio Center」（無料）をインストールすると、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機のスピーカーから再生したり、インターネットに接続して、音楽ストリーミングサービスを利用し本機をスピーカーに設定して再生することができます。また、複数のスピーカーと連携して使ったり、音質の調整などの各種設定もすることができます。

詳しくは下記をご覧ください。

jp.technics.com/support/

ファームウェアを更新する

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。

- ネットワーク経由で更新する。（⇒ 46）
- USB メモリーで更新する（⇒ 47）

（続く）

廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。（「本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには」⇒ 49）

- アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第 3 者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。

特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。

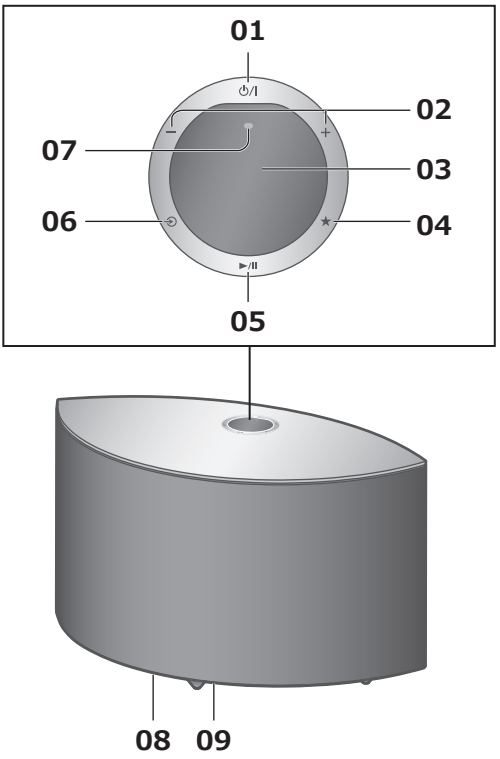
音のエチケット
シンボルマーク

各部の名前と働き

本体前面 / 上面 16
本体背面 17

もくじ ... 04

本体前面 / 上面



01 [⏻/I] 電源キー
電源を入 / 切します。

02 [ー][＋] 音量キー
• 音量の範囲：0（最小）～ 100（最大）

03 表示窓
入力ソースなどを表示します。

04 [★] お気に入りキー
お気に入りの放送局や音楽（USB、Podcasts、Spotify など）を登録し、呼び出すことができます。
• 最大 9 つまでお気に入りの放送局や音楽を登録することができます。登録するには、合わせた放送局や音楽の再生中に [★] を「Memorised」と表示されるまで押したままにしてください。1 ～ 9 までの空いている番号に自動的に登録します。

05 [►/II] 再生 / 一時停止キー

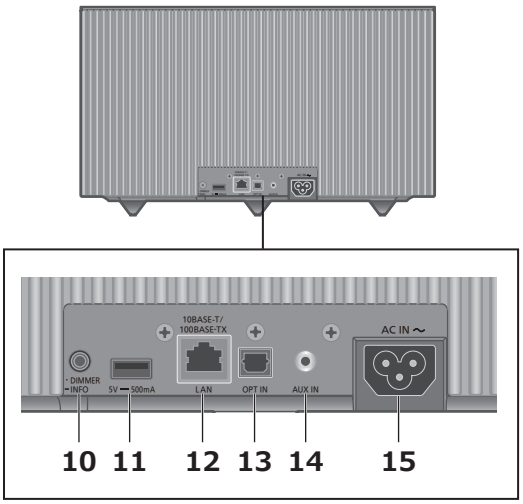
06 [⏀] 入力ソース切換キー

07 内蔵マイク（測定用）

08 定格銘板（本体底面）
• 製品品番は定格銘板内に記載されています。

09 イルミネーション
「Technics Audio Center」などのアプリから音量を調節したときに反応して点滅します。

本体背面



10 [•DIMMER / -INFO]
表示窓や本体底面のイルミネーションの明るさを切り換えます。

- 消灯にしているときは、本機を操作したときだけ表示窓が数秒間点灯し、表示窓が消灯する前に「Display Off」が数秒間、表示されます。
- 押すたびに明るさが切り換わります。
- 押したままにすると、ネットワークの接続状態や設定内容を表示します。その後、押すたびに本機の表示内容が変わります。（その間の明るさは切り換わりません）

11 USB 端子（USB-A）
（DC 5 V ⎓ 500 mA）
（⇒ 34）

- USB メモリーを接続していると、[•DIMMER / -INFO] が押しにくくなります。必要に応じて取り外してください。

12 LAN 端子
（⇒ 21）

13 光デジタル入力端子
（⇒ 31）

14 AUX 入力端子
（⇒ 29）

15 AC IN 端子（～）
（⇒ 19）

接続する

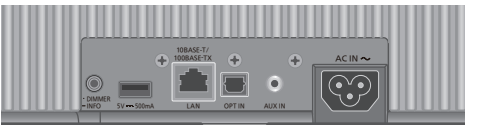
電源コードを接続する 19
電源コードの接続 19
ネットワークに接続する 20
有線 LAN 接続 21
無線 LAN 接続 22

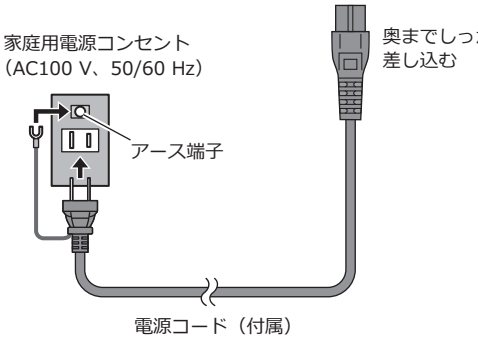
もくじ ... 04

電源コードを接続する

電源コードの接続

電源コードはすべての接続が終わった後、接続してください。





- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。
- 電源を入れ、「Wi-Fi Setup」が表示された場合、無線 LAN 接続設定をしないときは [⏎] を押してください。無線 LAN 接続設定をするときは、「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って設定してください。（⇒ 20、22）

お願い

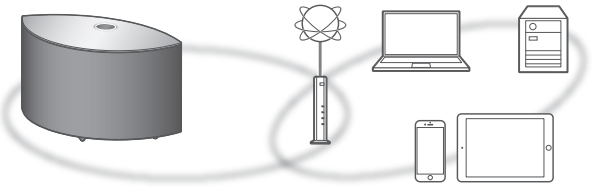
- 電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。
- アース線先端のキャップを外し、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前にアース接続を行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

お知らせ

- 本機が電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。
  本機が電源「切」状態でも、電力を消費しています。
  （電源切（スタンバイ）時の消費電力 ⇒ 62）

ネットワークに接続する

本機をネットワークに接続することで、同じネットワークに接続している機器の音楽を本機のスピーカーでお楽しみいただけます。また、インターネットにつながったネットワークに接続すれば、音楽ストリーミングサービスを利用し本機をスピーカーに設定して再生することができます。



本機は、ブロードバンドルーターと有線 LAN または無線 LAN（Wi-Fi®）で接続することができます。
ネットワーク接続時の安定した再生のためには有線 LAN をお勧めします。

■準備する

お使いのスマートフォンやタブレットに「Google Home」アプリをインストールして、接続設定ができます。

- Chromecast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合（⇒ 35）、「Google Home」アプリから接続設定を行ってください。
- お使いのスマートフォンやタブレットの Wi-Fi 機能を「入」にする。

1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Google Home」アプリをインストールする

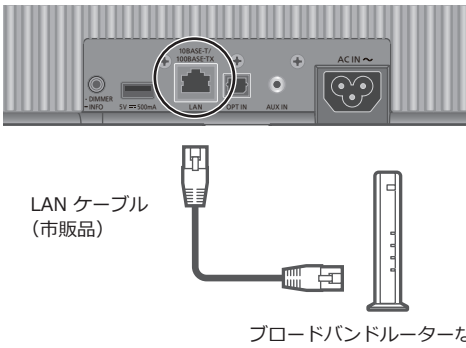
- 「Google Home」アプリは下記のサイトからダウンロードしてください。
  https://www.google.com/cast/setup/

2 本機を接続するネットワークに、あらかじめスマートフォンやタブレットを接続しておく

- インターネットにつながったネットワークに接続してください。

（続く）

有線 LAN 接続



1 本機の電源コードを抜く

2 本機とブロードバンドルーターなどを LAN ケーブルで接続する

3 本機に電源コードを接続する（⇒ 19）

4 [⏻/I] を押して電源を入れる

5「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って接続設定を行う

（Chromecast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合（⇒ 35））

お知らせ

- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。
- カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をご使用ください。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 電源を入れた後、起動までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。[►/II] を 5 秒以上、押したままにすると更新が始まります。（[⏎] を押すと表示が消えて更新は中止されます。）
  - 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。（□は数字を表しています）
  - 更新が完了すると「Success」と表示されるので、電源を切 / 入してください。
- Wi-Fi 機能を「On」にしていても、LAN ケーブルを接続すると有線 LAN で動作します。（「📶」の表示が消えます）
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

（続く）

無線 LAN 接続

■準備する

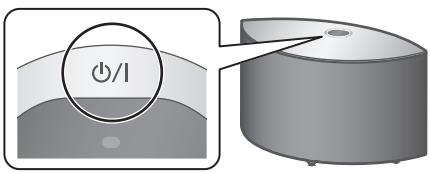
① 本機の電源コードを抜く
② LAN ケーブルを取り外す
③ 本機を無線ブロードバンドルーターのなるべく近くに置く
④ 本機に電源コードを接続する（⇒ 19）

お知らせ

- 電源を入れた後、起動までに時間がかかることがあります。
- ネットワーク接続完了後、「Firmware update is available」と表示された場合、本機のファームウェアを更新することができます。[►/II] を 5 秒以上、押したままにすると更新が始まります。([⏎] を押すと表示が消えて更新は中止されます。)
  - 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。(□は数字を表しています)
  - 更新が完了すると「Success」と表示されるので、電源を切 / 入してください。
- ネットワーク接続が未設定のときは、「📶」が点滅します。ネットワーク接続設定が完了すると「📶」は消えます。
- 「📶」が点滅中は、「Google Home」アプリから接続設定ができる場合があります。「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って設定してください。(⇒ 26)
- ネットワーク設定は、時間がかかると中止されることがあります。その場合、設定をやり直してください。
- 無線ネットワークの接続や設定操作を中止するには [⏎] を押すか、電源を切ってください。
- 本機は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯で使用することができます（⇒ 63)。ネットワークへの接続は、802.11ac または 11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）のブロードバンドルーターの使用をお勧めします。

「Google Home」アプリを使って初めてネットワーク接続設定をする

1 [⏻/I] を押して電源を入れる



- 「Wi-Fi Setup」が点滅します。

2「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って接続設定を行う

（続く）

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SC-C50-****」と表示されます。(「****」は機器に固有の文字を表しています)
- 「Google Home」アプリや「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報(SSID、MAC アドレス、IP アドレス)を確認することができます。
- 「Google Home」アプリには、本機とは関連性のない表示もあります。
- 無線ネットワークの接続設定を中止するときは、[⏎] を押してください。
- Wi-Fi 機能の設定を途中で中止し、その後に本機の電源を切 / 入すると、再度「Wi-Fi Setup」が表示されます。設定を行うか、もしくは Wi-Fi 機能を「Off」にすると以降は表示されません。
- 無線ネットワークの接続設定を中止し、本体背面の [•DIMMER / -INFO] を押しながら本体上面の音量 [ー] を 5 秒間押したままにすると、Wi-Fi 機能の「On」/「Off」を切り換えることができます。
- その他の接続方法について(⇒ 24)

(続く)

設定メニューからネットワークの接続設定をする（Chromecast 対応アプリを使わないとき）

WPS プッシュボタンで接続する
「WPS」

お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、WPS ボタンを押して本機と無線 LAN 接続することができます。

- WPS（Wi-Fi Protected Setup™）方式に対応している無線ブロードバンドルーターには WPS マークがあります。
- 「WPS」が表示されてから 2 分以内に設定を行ってください。

1 本体背面の [●DIMMER / -INFO] を押しながら本体上面の [⏎] 入力ソース切換キーを押したままにする

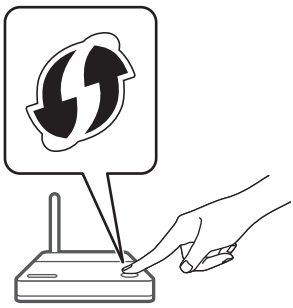
- それぞれの接続方法（WPS/WPS PIN/Wi-Fi Setup）が順番に表示されます。
- 表示は 5 秒間隔で変わります。
- [⏻/I] を押して電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が点滅表示する場合は、[⏎] を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、再度やりなおしてください。

- お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS（Wi-Fi Protected Setup™）プッシュボタンに対応している場合

2 「WPS」が表示されている状態で、押していた [⏎] と [●DIMMER / -INFO] を離す

3 無線ブロードバンドルーターの WPS ボタンを押す

例：WPS マーク



- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [►/II] を押して接続設定を終了する

（続く）

WPS PIN コード方式で接続する
「WPS PIN」

お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS に対応している場合、PIN コードを入力することで本機と無線 LAN 接続することができます。

- ルーターの取扱説明書などで、PIN コードの入力方法を調べておいてください。
- 8 桁の PIN コードが表示されてから 2 分以内に設定を行ってください。

1 本体背面の [●DIMMER / -INFO] を押しながら本体上面の [⏎] 入力ソース切換キーを押したままにする

- それぞれの接続方法（WPS/WPS PIN/Wi-Fi Setup）が順番に表示されます。
- 表示は 5 秒間隔で変わります。
- [⏻/I] を押して電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が点滅表示する場合は、[⏎] を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、再度やりなおしてください。

- お使いの無線ブロードバンドルーターが WPS PIN コード方式に対応している場合

2「WPS PIN」が表示されている状態で、押していた [⏎] と [●DIMMER / -INFO] を離す

3 パソコンなどからルーターに接続し、表示された PIN コード「64428147」を入力する

- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [►/II] を押して接続設定を終了する

お知らせ

- Chromecast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合（⇒ 35）、「Google Home」アプリから接続設定を行ってください。
- 無線ブロードバンドルーターによっては他の無線機器の接続が一時的に切断されることがあります。
- 無線ブロードバンドルーターの使いかたなど詳細については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

（続く）

設定メニューからネットワークの接続設定をする（Chromecast 対応アプリを使うとき）

「Google Home」アプリから接続する
「Wi-Fi Setup」

Chromecast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合は、「Google Home」アプリからネットワークの接続設定をする必要があります。他の方法で接続設定をしている場合は、以下の手順で設定をやり直してください。

1 本体背面の [●DIMMER / -INFO] を押しながら本体上面の [⏎] 入力ソース切換キーを押したままにする

- それぞれの接続方法（WPS/WPS PIN/Wi-Fi Setup）が順番に表示されます。
- 表示は 5 秒間隔で変わります。
- [⏻/I] を押して電源を入れた時に「Wi-Fi Setup」が点滅表示する場合は、[⏎] を押して、「Wi-Fi Setup」画面を消してから、再度やりなおしてください。

- 「Google Home」アプリを起動して接続の設定をする場合

2「Wi-Fi Setup」が表示されている状態で、押していた [⏎] と [●DIMMER / -INFO] を離す

3 アプリを起動して画面の指示に従う

- 接続が完了すると、表示窓に「Success」と表示されます。
  - 接続できなかった場合、表示窓に「Fail」と表示されます。設定メニューからネットワークの接続設定をやり直してください。それでも「Fail」と表示される場合は、別の接続方法をお試しください。

4 [►/II] を押して接続設定を終了する

お知らせ

- 本機の名前を設定していない場合、本機は「Technics-SC-C50-****」と表示されます。（「****」は機器に固有の文字を表しています）
- 「Google Home」アプリや「Technics Audio Center」アプリからネットワーク情報（SSID、MAC アドレス、IP アドレス）を確認することができます。
- 「Google Home」アプリには、本機とは関連性のない表示もあります。

（続く）

Wi-Fi 機能の有効・無効を切り換える

1 本体背面の [●DIMMER / -INFO] を押しながら本体上面の音量 [—] を 5 秒間押したままにする

• Wi-Fi 機能の「On」/「Off」が切り換わります。

お知らせ

• お買い上げ時の設定は「On」です。

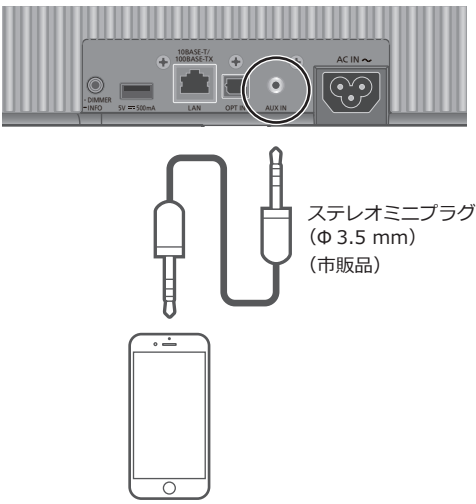
音楽を楽しむ

アナログ出力機器の音楽を再生する 29
音声レベルを調節する「Input Level」..... 30
光デジタル出力機器の音楽を再生する..... 31
Bluetooth® 機器の音楽を聴く 32
登録・接続する 32
Bluetooth® 機器の接続を解除する..... 33
USB メモリーの音楽を聴く 34
ネットワークの音楽を聴く 35
Chromecast 対応アプリの音楽を聴く..... 35
ネットワーク接続した機器の音楽を聴く 37
インターネットラジオ、Podcasts を聴く 38
AirPlay で音楽を再生する 39
Spotify Connect を使って音楽を再生する... 41
Deezer を聴く..... 43

もくじ ... 04

アナログ出力機器の音楽を再生する

携帯音楽プレーヤーなどをステレオミニプラグ（Φ 3.5 mm）（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。



携帯音楽プレーヤーなど

1 本機の電源コードを抜く

2 携帯音楽プレーヤーなどを本機に接続する

3 本機に電源コードを接続する（⇒ 19）

4 [⏻/I] を押して電源を入れる

5 [⇒] を押して入力ソースを「AUX」に切り換える

6 接続した機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- 接続機器で動画を再生すると、映像に対して音声がずれて聴こえる場合があります。
- 再生中に [▶/II] を押すと消音します。
  （解除するには、もう一度押す / 音量を調節する / 電源を切 / 入する）

（続く）

音声レベルを調節する「Input Level」

アナログ音声入力端子に機器を接続中に音声がひずむ場合は、「Low」に切り換えると改善することがあります。

1 [⏎] を押して入力ソースを「AUX」に切り換える

2 [⏎] を 5 秒間押したままにする

3「Input Level」が「Low」と表示されたら [⏎] を離す

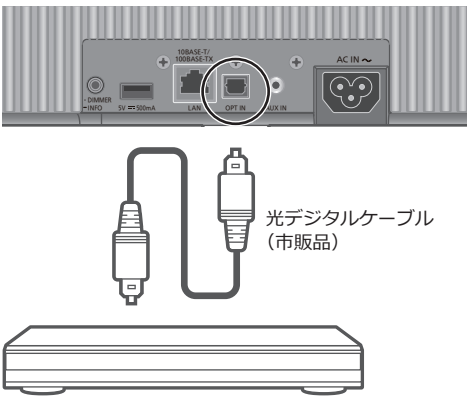
- 「High」に戻すときは、再度 [⏎] を押したままにしてください。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「High」です。
- 「Technics Audio Center」アプリ（無料）からも設定することができます。

光デジタル出力機器の音楽を再生する

CD プレーヤー機器などを光デジタルケーブル（市販品）で本機に接続して、機器の音楽を再生することができます。



1 本機の電源コードを抜く

2 CD プレーヤーなどを本機に接続する

3 本機に電源コードを接続する（⇒ 19）

4 [⏻/I] を押して電源を入れる

5 [⇒] を押して入力ソースを「OPT」に切り換える

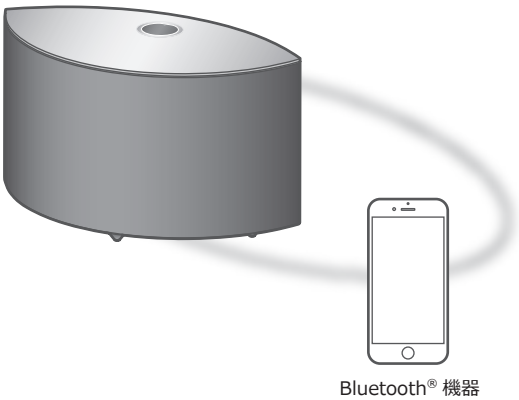
6 接続した機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- 接続機器で動画を再生すると、映像に対して音声がずれて聴こえる場合があります。
- 再生中に [►/II] を押すと消音します。
  （解除するには、もう一度押す / 音量を調節する / 電源を切 / 入する）
- 本機のデジタル音声入力は、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
  - サンプリング周波数：
    32、44.1、48、88.2、96 kHz
  - 量子化ビット数：
    16、24 bit

Bluetooth® 機器の音楽を聴く

Bluetooth® に対応した機器を本機に登録して、機器の音楽を再生することができます。
- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の取扱説明書をお読みください。



Bluetooth® 機器

登録・接続する

■準備する
- 本機と Bluetooth® 機器の電源を入れ、機器を本機に近づける。
- Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を有効にする。

■Bluetooth® 機器を登録する

1 [⏀] を押して入力ソースを「ᛒ」に切り換える
- 初めて Bluetooth® 機器を登録するときは、「ᛒ」が 1 秒おきに点滅します。手順 3 に進んでください。

2 登録待機状態にするために、[⏀] を押したままにする
- 「ᛒ」が 1 秒おきに点滅します。

3 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SC-C50-** ※1, 2」を選ぶ**
- 「Google Home」アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

4 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する

（続く）

■登録済みの Bluetooth® 機器を接続する

1 [⏎] を押して入力ソースを「ᛒ」に切り換える

- 「ᛒ」が毎秒点滅し、本機は最後に接続していた Bluetooth® 機器と接続しようとします。接続後は手順 3 へ進んでください。
- 別の Bluetooth® 機器が接続している場合は、Bluetooth® 機器側から接続を解除してください。

2 Bluetooth® 機器側で Bluetooth® の接続画面などを開き、「Technics-SC-C50-** ※1, 2」を選ぶ**

- 「Google Home」アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

3 Bluetooth® 機器側を操作して音楽を再生する

お知らせ

- パスキーの入力を要求された場合は「0000」（ゼロ 4 つ）を入力してください。
- 登録できる Bluetooth® 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、Bluetooth® 接続した順番が古いものから上書きされるため、機器の登録が解除されます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。
- Bluetooth® 機器の詳細は、機器に付属の取扱説明書をお読みください。

※ 1 機器によって固有の文字が表示されます。

※ 2 「Technics Audio Center」アプリ（無料）から、本機の表示名を変更できます。

Bluetooth® 機器の接続を解除する

Bluetooth® 機器側から接続を解除するか、本機の入力ソースを切り換えることで接続を解除することができます。

お知らせ

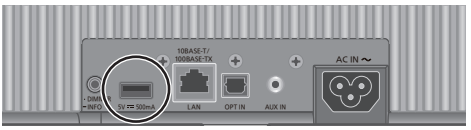
- 同時に接続できる Bluetooth® 機器の台数は 1 台です。

USB メモリーの音楽を聴く

「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、接続した USB メモリーにある音楽を本機のスピーカーからお楽しみいただけます。詳しくは下記をご覧ください。

jp.technics.com/support/

- 本機で再生できる USB メモリーについては、「対応メディアについて」（⇒ 57）をご覧ください。



USB メモリー

1 USB メモリーを本機に接続する

2 [⏀] を押して入力ソースを「USB」に切り換える

3「Technics Audio Center」アプリを起動して音楽を再生する

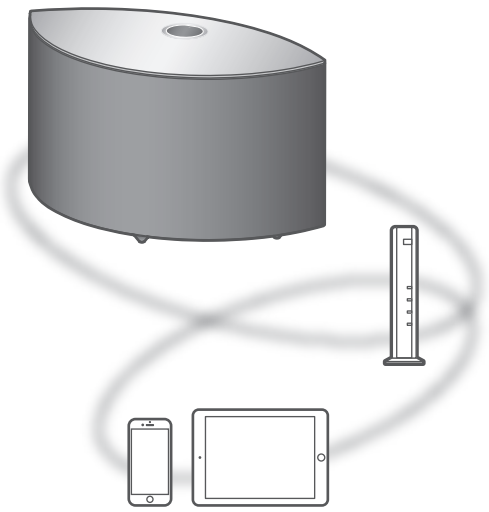
- 本体の [▶/II] を押しても再生します。

お知らせ

- リピート設定やランダム設定などは、「Technics Audio Center」アプリ（無料）から設定することができます。

ネットワークの音楽を聴く

Chromecast 対応アプリの音楽を聴く



本機では Chromecast に対応したアプリをお使いいただけます。Chromecast に対応したアプリの情報については下記のサイトをご覧ください。

g.co/cast/apps

■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 20)
  (インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- お使いの機器(スマートフォンやタブレットなど)に Chromecast に対応したアプリをインストールする。
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 お使いの機器(スマートフォンやタブレットなど)から Chromecast 対応アプリを起動して本機を選択する

- 入力ソースが「Chromecast built-in」に切り換わります。

2 音楽を再生する

- 「Casting」と表示されます。

すべての音楽ストリーミングサービスが利用できるわけではありません。音楽ストリーミングサービスを利用する場合は、登録 / 定期購入が必要になったり、使用料金が発生する場合があります。また、提供サービスは予告なく変更・停止する場合があります。

詳しくは各音楽ストリーミングサービスのホームページをご覧ください。

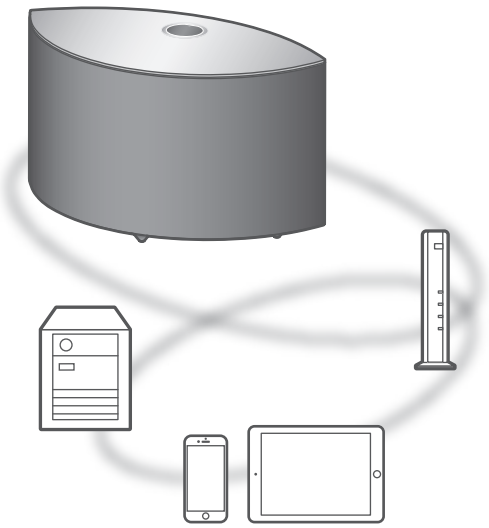
(続く)

廃棄 / 譲渡するときのお願い

アカウントの不正利用を防ぐために、本機を廃棄または第 3 者へ譲渡するときは必ず音楽ストリーミングサービスのアカウントをログアウトしてください。

（続く）

ネットワーク接続した機器の音楽を聴く



「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、ネットワーク接続している機器にある音楽を本機のスピーカーからお楽しみいただけます。

■準備する

- ネットワーク設定をする。（⇒ 20）
- 以下の機器を本機と同じネットワークに接続する。
  - –「Technics Audio Center」アプリをインストールした機器
  - –音楽ファイルを保存している機器

1 お使いのスマートフォンやタブレットに「Technics Audio Center」アプリ（無料）をインストールする

- 「Technics Audio Center」アプリ（無料）のインストールについては下記をご覧ください。
  jp.technics.com/support/

2「Technics Audio Center」アプリを起動する

- アプリは常に最新バージョンをお使いください。

3 出力するスピーカーとして本機を選ぶ

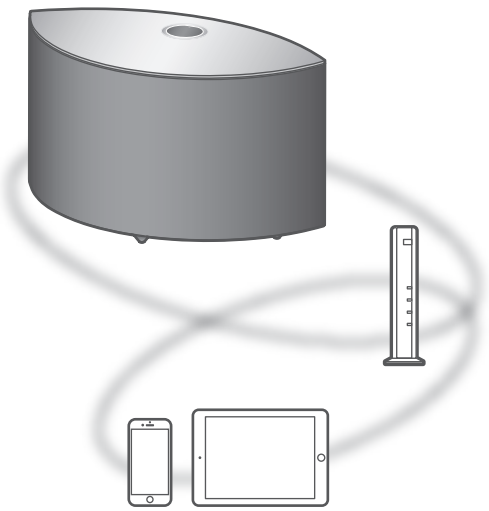
4 再生する音源を選ぶ

5 再生する曲を選ぶ

- 再生するコンテンツによって、本機の入力ソースの表示は異なります。
  - –ネットワーク接続している機器にある音楽の再生が始まると、「DMR」（デジタルメディアレンダラー）と表示されます。

インターネットラジオ、Podcasts を聴く

「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、本機をインターネットラジオのスピーカーに設定して再生することができます。詳しくは下記をご覧ください。
jp.technics.com/support/



■準備する

- ネットワーク設定をする。（⇒ 20）
  （インターネットにつながったネットワークに接続してください）
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 お使いのスマートフォンやタブレットから「Technics Audio Center」アプリを起動する

2「Technics Audio Center」アプリからインターネットラジオ /Podcasts を選択する

3 再生する音源を選ぶ

- インターネットラジオを再生中は、「 」と表示されます。
- Podcasts を再生中は、「Podcasts」と表示されます。
- 再生操作は、「Technics Audio Center」アプリ（無料）で行ってください。詳しくは、下記のサイトをご覧ください。
  jp.technics.com/support/

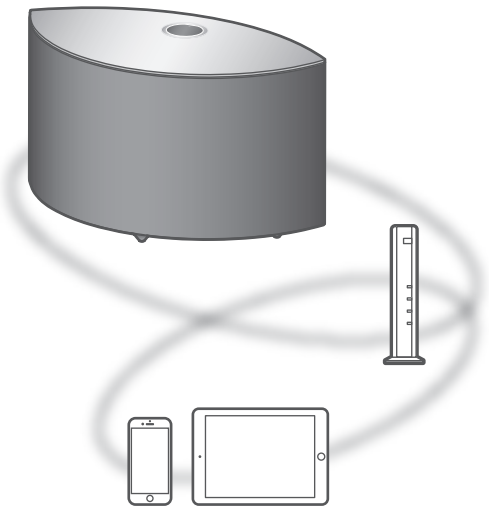
お知らせ

- インターネットラジオを再生中に [►/II] を押すと消音します。（解除するには、もう一度押す / 音量を調節する / 電源を切 / 入する）

AirPlay で音楽を再生する

iOS 機器などに保存した音楽を、AirPlay の機能を使って再生することができます。

- AirPlay は、iOS 4.3.3 以降を搭載した iPhone、iPad、iPod touch、OS X Mountain Lion 以降を搭載した Mac、iTunes 10.2.2 以降を搭載した PC で動作します。



■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 20)
- iOS 機器やパソコンを、ご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 (iOS 機器 (iPhone、iPad、iPod touch など) のとき)

「iPod」または「ミュージック」アプリを開く

(パソコンのとき)

「iTunes」を開く

2 AirPlay アイコン (例 :) を選び、スピーカーを選ぶ

- お買い上げ時のスピーカー名は「Technics-SC-C50-**** [※1, 2]」と表示されます。
- 「Google Home」アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。

(続く)

3 音楽を再生する

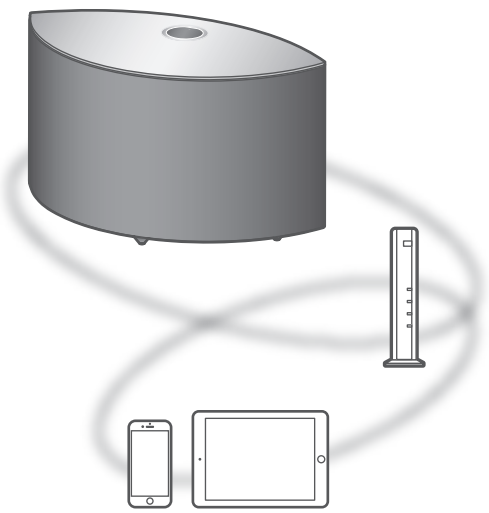
- 音を出す前に iOS 機器や iTunes の音量が適切か確かめてください。
- 初めてご使用になるときは iOS 機器や iTunes の音量を絞ってください。
- 再生開始後、実際に音声が出るまで少し時間がかかります。

※ 1 機器によって固有の文字が表示されます。

※ 2「Technics Audio Center」アプリ（無料）から、本機の表示名を変更できます。

Spotify Connect を使って音楽を再生する

本機は音楽ストリーミングサービス Spotify が楽しめる、Spotify Connect に対応しています。
スマートフォンやタブレットのアプリを使用して、Spotify の楽曲を本機でストリーミング再生することができます。



■準備する

- Spotify Premium の登録が必要です。詳しくは下記のサイトをご確認ください。
  www.spotify.com/jp/connect/
- ネットワーク設定をする。(⇒ 20)
  (インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 お使いの機器(スマートフォンやタブレットなど)から「Spotify」アプリを開き、音楽を再生する

2 画面下部に表示される再生中タイトルを選択する

- 再生画面が表示されます

3「接続可能なデバイス」を選択する

4 接続するデバイスとして、本機を選択する

(続く)

お知らせ

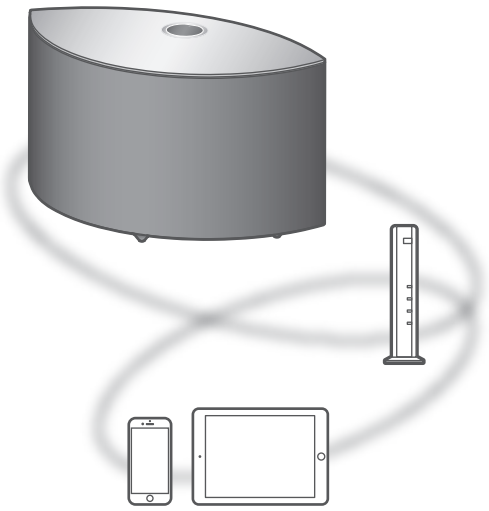
- 本機のお買い上げ時のデバイス名は「Technics-SC-C50-**** ※1, 2」と表示されます。
- 「Google Home」アプリから本機の名前を設定した場合は、設定した名前が表示されます。
- ご利用には登録が必要です。
- Spotify Premium には利用料がかかります。
- サービス内容やアイコン、仕様は予告なく変更・停止する場合があります。

※ 1 機器によって固有の文字が表示されます。

※ 2「Technics Audio Center」アプリ（無料）から、本機の表示名を変更できます。

Deezer を聴く

音楽ストリーミングサービス Deezer の音楽を再生することができます。
Deezer について、詳しくは下記のサイトをご確認ください。
www.deezer.com



■準備する

- ネットワーク設定をする。(⇒ 20)
  (インターネットにつながったネットワークに接続してください)
- 接続する機器をご家庭でお使いのネットワークに接続する。

1 お使いのスマートフォンやタブレットから「Technics Audio Center」アプリを起動する

2「Technics Audio Center」アプリから「Deezer」を選択する

3 画面の指示に従って、再生する音源を選ぶ
(アカウントがない場合は登録が必要です)

- ご利用には登録が必要です(有料)。
- 再生操作は、「Technics Audio Center」アプリ(無料)で行ってください。詳しくは、下記のサイトをご覧ください。
  jp.technics.com/support/

設定する

お気に入りを登録する 45

お気に入りの放送局や音楽を本体ボタンに登録する 45

その他の設定 46

ファームウェアを更新する「F/W Update」..... 46

「Technics Audio Center」から本機の設定を変更する 47

もくじ ... 04

お気に入りを登録する

お気に入りの放送局や音楽を本体ボタンに登録する

お気に入りの放送局や音楽（USB、Podcasts、Spotify など）を登録し、呼び出すことができます。

- 最大 9 つまでお気に入りの放送局や音楽を登録することができます。
- お気に入りの登録や呼び出し、削除などは、「Technics Audio Center」アプリ（無料）からも設定することができます。

1 放送局や音楽の再生中に [★] を押したままにする

- 1 ～ 9 までの空いている番号に自動的に登録します。
- 登録すると表示窓に「Memorised」が表示されます。登録できない場合は「Not Valid」と表示されます。

お知らせ

- 登録可能な 9 つを超えて登録しようとすると、「Full」と表示されます。追加する場合は、登録済みの放送局や音楽を削除してください。

登録したお気に入りの放送局や音楽を聴く

1 [★] を繰り返し押す

- 押すたびに登録済みの番号に切り換わります。聴きたい放送局や音楽の番号まで繰り返し押してください。

お知らせ

- 登録した放送局や音楽が見つからない場合は、入力ソースが切り換わるだけで再生しないか、異なる曲が再生されます。

お気に入りの放送局や音楽を削除する

1 [★] を繰り返し押して、削除する放送局や音楽を選ぶ

- 押すたびに登録済みの番号に切り換わります。削除したい放送局や音楽の番号まで繰り返し押してください。

2 削除したい [★ 1 ～ 9] を表示中に、[●DIMMER / -INFO] を押しながら [★] を押す

- 「Deleted」と表示されます。

その他の設定

ファームウェアを更新する「F/W Update」

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のファームウェアを必要に応じて更新しています。これらのアップデートは無料でご利用できます。

- ファームウェアの更新内容（機能の変更および改善）については下記のサイトをご確認ください。
  jp.technics.com/support/firmware/

ファームウェアの更新は約 10 分以上かかる場合があります。
ファームウェアの更新中は絶対に電源コードを抜かないでください。
ファームウェアの更新中は絶対にバージョンアップ用 USB メモリーを抜かないでください。
更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。
（□は数字を表しています）

お知らせ

- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。
- 本機のファームウェアが最新のときは、「Firmware is Up To Date」と表示窓に表示されます。（更新の必要はありません）
- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

ネットワーク経由で更新する

■準備する

- ネットワークに接続する。（⇒ 20）
  （インターネットにつながったネットワークに接続してください）

1 本機のファームウェアを更新することができる場合は「Firmware update is available」と表示される

2 [►/II] を 5 秒以上、押したままにする

- 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。（□は数字を表しています）
- 更新が完了すると「Success」と表示されるので、電源を切 / 入してください。
- 「Technics Audio Center」アプリ（無料）から本機のファームウェアを更新することもできます。

（続く）

お知らせ

- インターネットのご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、更新に時間がかかる場合があります。
- ネットワーク接続設定（⇒ 20）が完了した後に、自動的にファームウェアが更新される場合があります。

USB メモリーで更新する

■準備する

- サポートページよりバージョンアップ用のファームウェアをダウンロードし、バージョンアップ用 USB メモリーを作成する。
  - –バージョンアップ用 USB メモリーの作成方法は、下記のサイトをご確認ください。
    jp.technics.com/support/firmware/

1 バージョンアップ用 USB メモリーを本機に接続する

2 [⏻] を押して入力ソースを「USB」にする

3 [⏻] を 5 秒以上、押したままにする

- 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。（□は数字を表しています）
- 更新が完了すると「Success」と表示されるので、電源を切 / 入してください。

お知らせ

- お使いの USB メモリーによっては、更新に時間がかかる場合があります。

「Technics Audio Center」から本機の設定を変更する

本書に記載の設定以外に、「Technics Audio Center」アプリ（無料）を使って、本機の様々な設定が可能です。
詳しくは下記をご覧ください。
jp.technics.com/support/

必要なとき

故障かな !?..... 49
本機の温度上昇について 49
ファームウェアを更新していますか？ 49
本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには..... 49
共通..... 50
USB..... 51
Bluetooth® 51
ネットワーク 52
Spotify/Deezer/ インターネットラジオ / Podcasts 53
表示窓..... 54
ネットワークサービスについて 56
対応メディアについて..... 57
USB..... 57
無線機能使用上のお願い..... 58
著作権について 60
仕様..... 62
保証とアフターサービス（よくお読みください）... 66
まず、お買い求め先へご相談ください..... 66
転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください 67

もくじ ... 04

故障かな !?

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の温度上昇について

本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

ファームウェアを更新していますか？

本機の動作を改善するために、ファームウェアは必要に応じて更新されています。（⇒ 46）

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

1（電源が入っている状態で）

[●DIMMER / -INFO] を押しながら [⏻/I] を 5 秒以上、押したままにする

- 初期化が始まります。

2 初期化が終わると、本機が再起動する

（続く）

共通

本機が操作を受け付けなくなった、正常に動作しなくなった

- 各種安全装置などが働いていることがあります。
  ① 本体の [⏻/I] を押し、電源を切る
  – 切れない場合は、約 5 秒以上押したままにすると強制的に切れます。
  （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 3 分後再度コンセントに差し込む）
  ② 本体の [⏻/I] を押し、電源を入れる
  （起動に時間がかかる場合があります）
  – 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続コードの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。
- テレビの近くなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような場所から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力する場合があります。

音声が正常に出力されない

- 本機、または接続機器の音量を調整してください。
- 本機の入力端子と接続機器の出力端子を間違えて接続していませんか。電源を切ってから接続し直してください。
- 入力ソースを正しく選択してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- マルチチャンネルのコンテンツの再生には対応していません。
- 本機のデジタル音声入力端子は、リニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

再生が始まらない

- お使いの環境や接続機器の仕様によっては、少し時間がかかる場合があります。
- 再生可能なフォーマットか確認してください。（⇒ 64）

電源が突然切れる

- 本機には温度上昇による損傷を防ぐための保護回路が備わっています。長時間大きな音量で本機を使用すると、自動的に電源が切れる場合があります。温度が下がってから再度電源を「入」にしてください。（温度が下がるまで約 3 分かかります）

本機の設定が初期化される

- ファームウェアを更新すると、本機の設定が初期化される場合があります。

（続く）

USB

USB メモリーを接続しても認識されない

- ご使用の USB メモリーが他の機器で認識できるか確認してください。(⇒ 57)
- ファイルやフォルダの数が最大数（⇒ 63）以内であっても、ファイル名やフォルダ名が長い場合は認識されないことがあります。

[▶/❚❚] を押しても再生が始まらない

- 音楽ファイルのフォーマットをご確認ください。(⇒ 64)
- USB メモリーを本機から取り外して、接続をやり直してください。または、電源を切 / 入してください

操作に時間がかかる

- 容量の大きい、または曲数やフォルダ数の多い USB メモリーの場合、操作に時間がかかることがあります。

Bluetooth®

Bluetooth® 機器が登録できない

- Bluetooth® 機器の状態を確かめてください。

Bluetooth® 機器と無線接続されない

- Bluetooth® 機器が登録されていないか、Bluetooth® 機器から本機の登録情報が消去された可能性があります。登録をやり直してください。(⇒ 32)
- 本機が他の Bluetooth® 機器と接続されていませんか。他の Bluetooth® 機器の電源を切ってください。

Bluetooth® 機器と接続されているが、本機から音が出ない

- お使いの Bluetooth® 機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。Bluetooth® 機器の取扱説明書などをお読みください。
- ワンセグ対応の携帯電話等によっては、その機器の仕様や設定により、音声が再生されなかったり、ノイズが発生することがあります。その場合、本機の通信モードを変更することで改善されることがあります。通信モードは、「Technics Audio Center」アプリ（無料）から設定することができます。

音が途切れる、音が飛ぶ、雑音が多い

- Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10 m）を超えていませんか。本機と Bluetooth® 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth® 機器間に障害物がありませんか。障害物を避けてください。
- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と Bluetooth® 機器を、それらの機器から離してお使いください。
- 本機の通信モードを変更してみてください。通信モードは、「Technics Audio Center」アプリ（無料）から設定することができます。

（続く）

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(⇒ 20)
- 無線 LAN 機能が無効になっている場合は、設定を有効にするか、有線 LAN 接続してください。
  - 本体背面の [•DIMMER / -INFO] を押しながら本体上面の音量 [ー] を 5 秒間押したままにすると、Wi-Fi 機能の「On」/「Off」を切り換えることができます。
- 本機は WPA2™ の Wi-Fi セキュリティ方式に対応しています。
  本機をネットワーク接続する際は、WPA2™ に対応している無線ブロードバンドルーターをお使いください。ルーターが対応するセキュリティ方式や、設定の変更についてはルーターの取扱説明書をご覧になるか、インターネットサービス業者にお問い合わせください。
- ルーターの設定でマルチキャストを有効にしてください。
- ルーターによっては WPS ボタンで接続できない場合があります。他の接続方法をお試しください。(⇒ 24)
- 無線 LAN の電波環境や干渉が原因で接続できないことがあります。その場合は、他の接続方法をお試しください。解決しない場合は、有線 LAN で接続してください。(⇒ 21)
- LAN ケーブルの抜き差しは電源コードを取り外した状態で行ってください。

本機を接続機器のスピーカーとして設定できない

- 接続機器が本機と同じネットワークに接続されているか確認してください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- 本機の電源を切 / 入してから、再度本機を接続機器のスピーカーとして選択してください。

Chromecast 対応アプリから本機を選択できない

- Chromecast 対応アプリから本機で音楽を再生する場合は、「Google Home」アプリからネットワークの接続設定をする必要があります。(⇒ 26)
- 本機は Chromecast built-in を搭載したスピーカーです。動画アプリ等からは、本機を選択できない場合があります。

(続く)

再生が始まらない、音が途切れる

- 電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時にご使用の場合、通信が途切れることがあります。本機と機器を離してお使いください。
  - お使いの無線ブロードバンドルーターが 5 GHz 帯の電波に対応している場合、5 GHz 帯の電波での接続をお試しください。
- 金属キャビネットの中など電波を遮るようなところに本機を置かないでください。
- 再生が中断された場合は、接続機器の再生状態を確認してください。
- 本機とルーターを近づけてご使用ください。
- [•DIMMER / -INFO] を押したままにするとネットワークの接続状態が表示されます。再度 [•DIMMER / -INFO] を押すと Wi-Fi 接続の信号の度合いが表示されます。信号レベルは、「3」（最大）～「0」（未接続）で示しています。通信の途切れが発生するときは、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか、お確かめください。
- 複数の無線機器がルーターに接続されているときは、使用していない機器の電源を切るか、同時に複数の機器を使用するのを控えてください。
- 接続機器のネットワーク接続を切 / 入してから、本機と接続し直してください。
- 無線ブロードバンドルーターの電源を切 / 入してください。
- お使いのルーターの QoS 機能を「無効」に設定することで、音途切れが改善する場合があります。
- iOS や iTunes のバージョンによっては、AirPlay 再生中に入力ソースを切り換えたり、本機の電源を切 / 入したりすると、次回に AirPlay の再生ができないことがあります。そのときは iOS 機器や iTunes でいったん別のスピーカーを選んでから、本機を選び直してください。（⇒ 39）
- これらの方法で解決しない場合は、有線 LAN（LAN 端子）で接続できる機器は、LAN ケーブルで接続し直してください。（本機や NAS、ネットワークサーバーなど）（⇒ 21）

Spotify/Deezer/ インターネットラジオ /Podcasts

再生が始まらない、音が途切れる

- 放送を受信できない局は再生されません（または、放送局をスキップします）。
- インターネットラジオは、放送方式によって、再生できないことがあります。
- ネットワークの状況によっては、再生が正常にできないことがあります。
- インターネットのご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、音声が途切れたり、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- 国や地域の制約等により、再生できないことがあります。
- ネットワークサービスは、予告なく変更・停止する場合があります。

（続く）

表示窓

Auto Off

オートオフ機能が働き、電源が切れます。

- 取り消すときは、[⏻] などを押してください。
- オートオフ機能は、「Technics Audio Center」アプリ（無料）から変更することができます。

Download Fail

ファームウェアのダウンロードに失敗しました。

ネットワークがインターネットに接続されていません。

- しばらく待ってから、やり直してください。
- お使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がインターネットに接続されているか、確かめてください。

Empty

お気に入りに放送局や音楽が登録されていません。

- お気に入りの放送局や音楽を登録してください。（⇒ 45）

Fail

ネットワークの設定に失敗しました。

- 手順を確認し、ネットワークの設定をやり直してください。（⇒ 20）

Space Tune の設定に失敗しました。

- 手順を確認し、Space Tune の設定をやり直してください。（⇒ 13）

Firmware update is available

ファームウェアの更新（無料）が可能です。

① [▶/II] を 5 秒以上、押したままにする
- 更新がはじまります。
- 更新中は「Updating □ %」などの進捗状況が表示窓に表示されます。（□は数字を表しています）
- 更新が完了すると「Success」と表示されます。

② 「Success」と表示されたら、電源を切る

③ 3 分以上たってから、電源を入れる

- ファームウェアの更新内容については下記のサイトをご確認ください。
  jp.technics.com/support/firmware/

Full

お気に入りが最大数（9 つ）登録されているため、これ以上お気に入りを登録することができません。

- 追加する場合は、登録済みの放送局や音楽を削除してください。（⇒ 45）
- お気に入りは、「Technics Audio Center」アプリ（無料）からも削除することができます。

F □□（□は数字を表しています）

異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切る場合があります）

- 異常に暑い場所で使用していませんか。
- しばらく待ってから再度電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます）
  それでも同じ現象が起こる場合は、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

（続く）

Load Fail

接続した USB メモリーにバージョンアップ用のファームウェアがありません。

- バージョンアップ用のファームウェアを USB メモリーにダウンロードしてください。(⇒ 47)

No Device

USB メモリーが接続されていません。

- USB メモリーを接続してください。(⇒ 34)

再生できない USB メモリーです。

- 再生可能なファイルシステムか確認してください。(⇒ 57)

Not Valid

操作された機能は現在使用できません。

- 手順や設定を確かめてください。

Operate via App

本体のキーでは操作ができません。

- ネットワーク接続している機器にある音楽を本機で再生したり、音楽ストリーミングサービスを利用して音楽を再生するときの操作は、「Technics Audio Center」アプリ（無料）で行ってください。詳しくは、下記のサイトをご覧ください。

  jp.technics.com/support/

Unlocked

機器を接続していない状態で「OPT」を選んでいます。

音声信号のサンプリング周波数などが正しく入力できていません。

- 接続を確かめてください。(⇒ 31)
- 再生可能なフォーマットについて (⇒ 64)

USB Over Current Error

USB メモリーに過大な電流が流れるのを検出しました。

- USB メモリーを本機から取り外して、接続をやり直してください。(⇒ 34)
- 電源を切 / 入してください。

Wired LAN

本機に LAN ケーブルが接続されています。

- 無線 LAN 接続の設定を行うときは、LAN ケーブルを取り外してください。(⇒ 22)

Wi-Fi Setup

電源を入れ、「Wi-Fi Setup」が表示された場合、無線 LAN 接続設定をしないときは [⏎] を押してください。無線 LAN 接続設定をするときは、「Google Home」アプリを起動して画面の指示に従って設定してください。
(⇒ 20、22)

(続く)

ネットワークサービスについて

サービス事業者が提供するサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更・停止する場合があります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

対応メディアについて

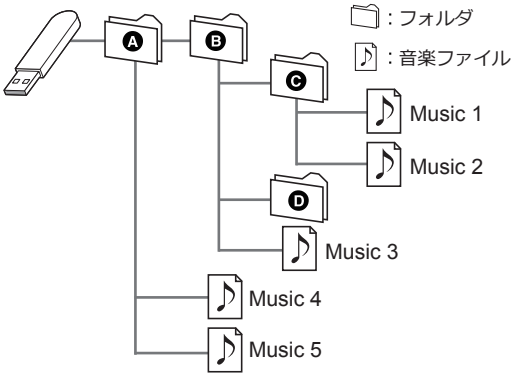
USB

- すべての USB メモリーとの接続を保証するわけではありません。
- 本機は FAT16、FAT32、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーに対応しています。
- 本機はハイスピード USB（USB2.0 準拠）に対応しています。
- USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは本機に直接接続してください。
- USB 接続のカードリーダーライターは使用できません。
- 本機では USB メモリーへの録音はできません。
- 再生できないファイルがある場合は、保存しているファイルの一部を認識できない場合があります。
- 再生可能なフォーマットについて（⇒ 64）

■フォルダとファイル構造

本機の [►/II] を押して再生すると、例のような順に再生されます。

例：



- 再生操作は、「Technics Audio Center」アプリ（無料）で行ってください。詳しくは、下記のサイトをご覧ください。
  jp.technics.com/support/

無線機能使用上のお願い

■使用周波数帯

内蔵無線機器は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。

① 2.4 GHz 帯を使用
② 2.400 GHz ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用
③ 変調方式が DSSS と OFDM 方式
④ 電波与干渉距離 40 m 以下
⑤ 変調方式が FH-SS 方式
⑥ 電波与干渉距離 10 m 以下

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**パナソニック株式会社**
パナソニック お客様ご相談窓口
（⇒ 67）

■機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す / はがす
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■使用制限

内蔵無線機器の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線機器の使用また使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

（続く）

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID：ネットワークを識別するための名前）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- **電波によるデータの送受信は、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があり傍受される可能性があります。**
- すべての Bluetooth® 機器との無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信する Bluetooth® 機器は、The Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。

間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。
- 無線 LAN を使用中に Bluetooth® 機器の音が途切れたり雑音が入る場合は、無線 LAN のご使用をお控えください。

■用途制限

内蔵無線機器は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途※での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途に使用しないでください。

※ハイセイフティ用途：きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のこと。
例：原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御、など

著作権について

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

“Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。

Works with Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載された技術で動作するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたことを示します。

Apple、AirPlay は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

本機は AirPlay2 対応製品です。iOS 11.4 以降が必要です。

Google、Google Home、Android、Google Play、Chromecast、Chromecast built-in およびその他の関連するマークとロゴは Google LLC の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Mac および OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

DSD はソニー株式会社の登録商標です。

（続く）

FLAC Decoder

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Spotify ソフトウエアは、以下に記載のサードパーティーソフトウエアを利用しています。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

仕様

■総合

電源		AC 100 V、50/60 Hz
消費電力		42 W
電源切（スタンバイ）時の消費電力	Network Standby Off	0.2 W
	Network Standby On（無線 LAN 接続設定時）	2.0 W
	Network Standby On（有線 LAN 接続設定時）	2.0 W
寸法（幅×高さ×奥行）		375 mm × 220 mm × 197 mm
質量		約 5.9 kg
許容動作温度		0 ℃～ +40 ℃
許容相対湿度		35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

■アンプ部

定格出力	フロントスピーカー（L/R）	20 W + 20 W（1 kHz、T.H.D. 1.0%、8 Ω、20 kHz LPF、JEITA）
	フロントスピーカー（センター）	20 W（1 kHz、T.H.D. 1.0%、8 Ω、20 kHz LPF、JEITA）
	サブウーハー	40 W（100 Hz、T.H.D. 1.0%、4 Ω、20 kHz LPF、JEITA）

■スピーカー部

フロントスピーカー（L/C/R）

形式	2 ウェイ、2 スピーカーシステム（密閉方式）
ウーハー	6.5 cm × 1/ch、コーン型
ツイーター	1.6 cm × 1/ch、ドーム型

サブウーハー

形式	1 ウェイ、1 スピーカーシステム（バスレフ方式）
サブウーハー	12 cm × 1/ch、コーン型

（続く）

■Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver. 4.2
送信出力	Class 2（2.5 mW）
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	AAC、SBC
通信方式	2.4 GHz Band FH-SS
見通し通信距離	約 10 m※1

※1 温度 25 ℃、高さ 1 m、「Mode1」（通信の安定性を重視したモード）の条件で測定

■入出力端子部

USB	USB、タイプ A コネクタ USB 2.0 High-speed USB Mass Storage Class	
	対応 USB メモリ容量	最大 2 TB
	最大フォルダ数（アルバム数）	800
	最大ファイル数（曲数）	8000
	ファイルシステム	FAT16、FAT32、NTFS
	USB ポート出力	DC OUT 5 V、 500 mA MAX
イーサネットインターフェース		LAN（100 BASE-TX、10 BASE-T）
AUX 入力		ステレオ（Φ 3.5 mm）
デジタル入力	光デジタル入力（光角型端子）	
	サポートフォーマット	LPCM

■Wi-Fi 部

規格		IEEE802.11a※2/b/g/n/ac ARIB STD-T71 （5 GHz 帯）、 ARIB STD-T66 （2.4 GHz 帯） （5 GHz は屋内使用限定）
セキュリティ	WPA2™、Mixed mode WPA2™ / WPA™	
	暗号化方式	TKIP / AES
	認証方式	PSK WEP（64 bit/128 bit）

※2 従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。

（続く）

■再生フォーマット

本機は以下の再生フォーマットに対応しています。

- 本機では著作権保護された音楽ファイルは再生できません。
- 本機が対応している再生フォーマットでも再生できないことがあります。
- 本機が対応していない再生フォーマットを再生すると、音声が途切れたりノイズが出ることがあります。
  その場合は、本機が対応している再生フォーマットであることを確認してください。
- 本機は VBR（可変ビットレート）に対応していません。
- 接続している機器およびサーバーによっては本機が対応していないファイル形式を変換して出力できるものもあります。
  詳しくは、機器およびサーバーの取扱説明書をご確認ください。
- 本機と再生ソフトで、表示されるファイル情報（サンプリング周波数など）が異なる場合があります。

光デジタル入力で音楽を再生する場合

サポート フォーマット	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
LPCM	32、44.1、 48、88.2、 96 kHz	16、24 bit

USB-A で音楽を再生する場合

ファイル の種類	拡張子	サンプリング 周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、 48 kHz	16 ～ 320 kbps
AAC	.m4a .aac	32、44.1、 48、88.2、 96 kHz	16 ～ 320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24、32 bit
FLAC	.flac	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24、32 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、 48、88.2、 96、176.4、 192、352.8、 384 kHz	16、24 bit
DSD	.dff .dsf	2.8、5.6、 11.2 MHz	

（続く）

DMR（デジタルメディアレンダラー）として音楽を再生する場合※

ファイルの種類	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート 量子化ビット数
MP3	.mp3	32、44.1、48 kHz	16 ～ 320 kbps
AAC	.m4a .aac	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16 ～ 320 kbps
WAV	.wav	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
FLAC	.flac	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24 bit
AIFF	.aiff	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24、32 bit
ALAC	.m4a	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192、352.8、384 kHz	16、24 bit
DSD	.dff .dsf	2.8、5.6、11.2 MHz	

※ :ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、本機が対応しているフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。例えば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、PC に入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。

注 :上記の仕様は 2019 年 9 月現在の情報です。予告なく変更する場合があります。変更内容については、下記のサイトをご覧ください。

jp.technics.com/support/firmware/

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理 などは

まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　）　－
お買い上げ日	年　月　日

■修理を依頼されるときは

49 - 56 ページの「故障かな !?」でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレススピーカーシステム
品番	SC-C50
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
  保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

（続く）

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

パナソニック　総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/

DIGA（ディーガ）・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル 携帯・PHS OK
パナは　キュウハチニ
0120-878-982
受付時間 9:00～18:00（年中無休）

■上記電話番号がご利用いただけない場合　**06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル 携帯・PHS OK
パナは　イイヨ
0120-878-554

■上記電話番号がご利用いただけない場合　**03-6633-6700**
■FAX フリーダイヤル　**0120-878-225**

便利な修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/

・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
（パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります）
・ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
アプライアンス社

〒525-8520　滋賀県草津市野路東 2 丁目 3 番 1-1 号
© Panasonic Corporation 2018 - 2019

TQBM0288-1
M1018TK1099